

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：5/28～6/1

・ 5/28(月)

加計学園問題、米朝首脳会談、陸自ヘリ墜落、安倍×トランプ電話会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、加計学園問題については問題のある場面が見られました。また、米朝首脳会談については検証者の所感を記しました。

・ 5/29(火)

米朝首脳会談、国会審議(働き方関連法案、IR 関連法案、森友問題、加計問題)などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、国会審議については問題が見られました。また、国会審議については検証者の所感を記しました。

・ 5/30(水)

党首討論、辺野古移設問題、米朝首脳会談、森友文書、加計学園問題、ベトナム主席招き宮中晩餐会などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、党首討論および辺野古移設問題については問題が見られました。

・ 5/31(木)

米朝首脳会談、森友問題、加計学園、働き方関連法案、鉄鋼輸入制限などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、森友問題については問題が見られました。

・ 6/1(金)

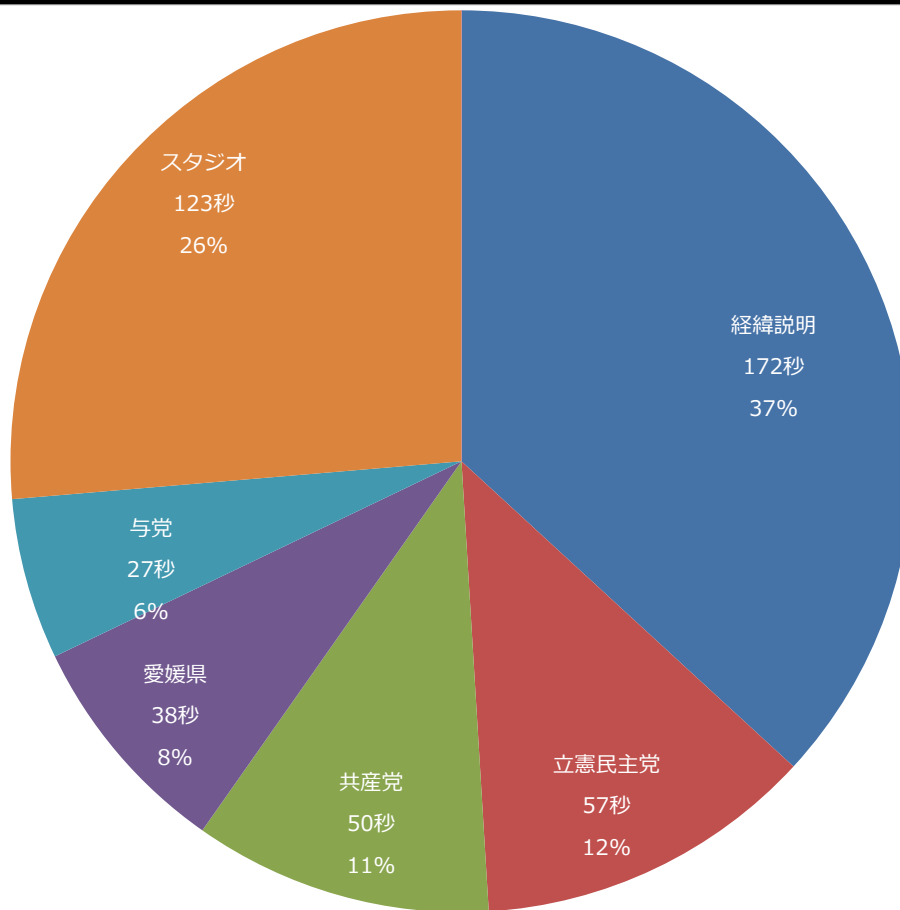
森友学園問題、加計学園問題、司法取引制度などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、特に問題は見られませんでした。なお、森友学園問題については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月28日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：加計学園問題、米朝首脳会談、陸自ヘリ墜落、安倍×トランプ電話会談		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加計学園問題 ・米朝首脳会談 ・日大アメフト部 ・福島県喜多方市で道路に亀裂 ・神奈川県茅ヶ崎市交通事故で4人死傷、90歳女性を逮捕 ・熊本市、住宅街で切りつけ事件、警官が発砲し犯人の男は死亡 ・佐賀県、陸自ヘリ墜落の中間報告 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 米朝首脳会談 加計学園問題 JR川崎駅付近で道路にロープ張り男を逮捕 【速報】安倍×トランプ電話会談 「ナッツ姫」の母親出頭、作業員に暴行疑い ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加計学園問題：結論→やや問題あり <p>加計学園問題について報じられた。このトピックについて当てられた時間は467秒で、経緯説明、立憲民主党の発言、共産党の発言、愛媛県の発言、与党の発言、スタジオでの議論というポイントに大別された。これらのポイントごとの時間配分及び比率は以下の通りである。</p>		



経緯説明では、加計学園が週末に送付した FAX が発端で、国会が紛糾したこと、FAX には「当時の担当者が実際にはなかった総理と理事長の面会を引き合いに出し県と市に誤った情報を与えてしまった。」とあり、またこうした虚偽の報告をした理由についても「当時は獣医学部設置の動きが一時停滞していた時期であり何らかの打開策を探しておりました、国家戦略特区を用いた申請に切り替えれば活路が見いだせるのではないかとの考え」ということが伝えられた。また、これをうけて、野党側は愛媛県の中村知事や加計理事長の国会招致を求めている、その声は一部与党側からも上がっていることも合わせて伝えられた。

立憲民主党の発言では福山哲郎幹事長の「いいねというところまで作り話を作ったとしたらこれ大問題ですよ。」という発言が取り上げられたほか、福山哲郎幹事長による質疑で以下に朱記したやり取りが取り上げられていた。

福山哲郎「総理、このコメントの発言について加計理事長もしくは加計学園から総理に直接の事前の連絡、官邸への連絡はありましたか。」

安倍総理「全くございません。」

ナレ「立憲民主党の福山氏は総理から加計学園側に謝罪を求めるべきだと迫りました。」

福山哲郎「これは政府を騙して自分の事業をやろうとした犯罪的行為に等しくなります、腹心の友ならそんなことまでしていいと総理、思われるのですか。愛媛と今治に謝罪、そして説明するようにお求めになるべきだと思いますが、いかがですか。」

安倍総理「加計学園がどのような行動を取るかということについてですね、総理大臣が指示をするべきではない

と、このように思っています。」

共産党の発言では小池晃書記局長の「これね、総理がカンカンに怒らなきゃいけないはずなんです。利用されたんですから、総理が」という発言が取り上げられたほか、小池晃書記局長による質疑で以下に朱記したやり取りが取り上げられていた。

ナレ「共産党の小池氏は加計学園の今回の説明は総理をかばうためのつじつま合わせだと指摘します。」

小池晃「総理はなんで怒らないんですか。」

安倍総理「起こるとか怒らないということではなく、愛媛県、まず愛媛県の文書について私は県の文書でございますから、コメントする立場にはないわけでございます。」

小池晃「総理との架空の面談をでっち上げてですよ、獣医学部の新設を実現しようと言ったと、利用されたんですから総理、それなのに平然としている。総理自らをかばうものであるということをご存知だから平然としているんじゃないですか。」

安倍総理「あの、私は常に平然としております、私にはコメントのしようがない、ということでございます。」

愛媛県の発言では中村時広知事の「公の機関である今治市と私達に虚偽の話をしたということになりますから、常識論で考えたらまずはその相手先に、これは一般の社会ですよ、相手先に謝罪してそして説明をして、で責任者が記者会見する、ということなんじゃないかなと思うんで。」という発言が取り上げられていた。

与党の発言では石破茂自民党元幹事長の「最高権力者たる総理というものを仮に加計さんの言うことが本当だとしたらそれを利用したというのはそれはあるまじきことであってですね、なんでそんな偽の情報を提示したのかを説明する義務はあるんでしょね。」という発言と与党幹部の「あんな一方的に言いっぱなしにしておいてね、学校法人として丁寧に説明する責任はあるよね。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮塔子「要するに加計学園がいいたいのは3年前に安倍総理と加計氏はあっていない、とそれなのにまるで会ったかのようにされているのは自分たちが間違っただけの情報を出したからということなんですね。」

星浩「そうですね、二人はあっていないということと、それから愛媛県の文書に間違いはないということを持続するとすると、真ん中のその加計学園の事務方が嘘をついたということにするしかない、まあ論理的に言うともね。そういうことになるんですけども、仮のそれを事実だとするといろんな疑問が次々に出てきているわけですね、大体そもそも総理発言を捏造するような学校法人に大学の許認可を与えていいのかという疑問も出てきますよね。」

駒田健吾「森友問題のときは籠池氏が事実と反することに語ったということで総理への侮辱だということにされましたよね、今回も総理の名前や発言が使われているということでそれでも加計氏を証人喚問しないんでしょうか。」

星浩「まあ自民党では国会招致を唱える声は少数派ですね。まあただですね国会が真相解明に無力だったということが露呈するとですね、国会の権威って下がってくるんだということを国会議員は、私自覚するべきだと思いますね。」

それぞれの政治勢力ごとの意見の時間配分については目立った偏りは見られなかったが、立憲民主党と共産党の発言は全て国会で行われたものであるのに対して、自民党・与党の発言は国会外で行われたものや発言者が匿名にされたものであった。時間配分こそ目立った偏りは見られなかったが、立憲民主党や共産党については国会

での質疑が取り上げられているのに対して、自民党や公明党による質疑が全く取り上げられていない、という点においては、取り上げている発言の質・重みという点では野党に偏った報道であったといえ、その点では放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点に照らし合わせるとやや問題があるといえる。

・米朝首脳会談：結論→特に問題なし

トランプ大統領の決断に依って一度は中止されたかに見えたアメリカと北朝鮮による首脳会談が一転してここ数日開催に向けた動きが加速している様子が伝えられた。また、トランプ流の外交について専門家の見方として上智大学教授の前嶋和弘氏の意見が次に朱記した2つのシーンで取り上げられていた。

【シーン1】

前嶋和弘(上智大学教授)「トランプさんならではのですね。」

ナレ「一度は会談のキャンセルを表明したトランプ大統領、その引き金はもはやおなじみとなっている北朝鮮の激しい言動でした。」

前嶋和弘「北朝鮮としては通常のこれまでと同じような揺さぶりをかけているんですね、ただトランプさんはこれを揺さぶりと思わずに、要するにこれは自分のビジネスの相手だと思ったら、なんと失礼なやつなんだ、失礼だからこんなもんじゃ会わないよ、というトランプ流の取引でノーと言ったんですね。」

ナレ「前嶋氏は思わぬトランプ氏の反応に焦ったのではないかと分析します。」

前嶋和弘「これはいかん、本音はやりたいたってというのが北朝鮮ですので、やっぱりやり方を変えて、南北の首脳会談を開いたりして真剣に北朝鮮もやる準備があるんだというメッセージをトランプ流に挙げたんですね。」

【シーン2】

ナレ「専門家はトランプ流の欠点をこう指摘します。」

前嶋和弘「不動産のビジネスで相手の不動産のビジネスのトップと話し合うのはちょうどいいんですが、これは外交ですからね外交っていうのは中々そんな簡単に決まらなくてもっと細かな詰めが必要であるので、トップよりもその下の人達がだいぶ動かないといけない。」

このトピックについて当てられた時間は414秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られませんでした。

・陸自ヘリ墜落：結論→特に問題なし

佐賀県で今年2月陸上自衛隊のヘリコプターが墜落した乗組員二人が死亡した事故について防衛省は事故調査の中間報告を行ったこと、中間報告ではヘリの回転翼と機体を固定するメインローターヘッドの中のボルトが上空で破損し羽が機体から分離して墜落するに至ったとしていることが報じられた。このトピックについて当てられた時間は23秒で、放送法第四条見地からは特に問題は見られなかった。

・安倍×トランプ電話会談：結論→特に問題なし

安倍総理は今夜、アメリカのトランプ大統領と電話で会談し、来月で調整されている米朝首脳会談の前に、日米が首脳会談を行うことで一致をしたこと、安倍総理は共通の方針のもと米朝首脳会談が意義あるものとなるように協力していくことで一致したと述べたほか、拉致問題の解決が絶対に必要だと伝えたとのことが速報で報じられた。このトピックについて当てられた時間は27秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかつ

た。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・米朝首脳会談

前嶋和弘教授の指摘するトランプ外交の欠点というのが聞いていて今ひとつわからなかった。「不動産のビジネスで相手の不動産のビジネスのトップと話し合うのはちょうどいい」というのは不動産ビジネスに限らず決定権者同士が話し合うのが良いとは言えるだろう。しかし、事務方がいくら動き調整や協議をしたところで、決定権者同士のやり取りでの「ちゃぶ台返し」というのはあり得ることであるし、結局の所、決定権者同士の話し合いでなければ決まらないこともあるという点を考えると、「これは外交ですからね外交っていうのは中々そんな簡単に決まらなくてもっと細かな詰めが必要であるので、トップよりもその下の人達がだいぶ動かないといけない。」というには、もう少し説明が必要ではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月29日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：米朝首脳会談、国会審議		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【最新】岡山県津山市小3 女児刺殺事件、発生から 14 年し容疑者逮捕へ ・米朝首脳会談と金正恩氏の「執事」 ・国会審議 働き方改革法案採決先送り IR 法案 森友加計問題 ・日大悪質タックル問題 ・フランス、パリでスパイダーマンさながらに男児救出 マクロン大統領が市民権と消防隊員の職を約束 ・神奈川県茅ヶ崎市、4 人死傷の自動車事故で 90 歳女性 ・長野県上田市、警察官が鉄パイプで殴られる、犯人の男性は逃走中 ・【速報】NHK 関連会社社員男性重症 警視庁が入管難民法違反容疑で逮捕された韓国籍の男を殺人未遂の疑いで逮捕する方針 ・スポーツ報道 ・23Today 岡山県津山市 金正恩氏の執事 郷ひろみさん母親が被害、オレオレ詐欺 6 人逮捕 熊本切りつけ事件、犯人と被害者は「面識なし」 新潟県五頭連峰で二人の遺体 ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談と金正恩の執事：結論→特に問題なし 板門店ではアメリカの元駐韓大使だったソン・キム元駐韓大使が北朝鮮のアメリカ担当高官チェ・ソンヒ外務次官と実務者協議を行っている模様であることが報じられた。 日本の動きについては北朝鮮による弾道ミサイル攻撃に備える地上配備型のミサイル迎撃システムのイージスアショアについて小野寺防衛大臣は来月 1 日にも配備の候補地、秋田県と山口県に説明を行う考えをあきらかにしたこと、小野寺大臣は今夜、ハワイに向け出発しアメリカのマティス国防長官と今後の北朝鮮問題への対応などについて会談を行うとのことが報じられたほか、小野寺五典防衛相の「北朝鮮は何も約束をしておりません。私どもとしては現時点でも圧力をかけ続けるフェーズにあると思っています。」というコメント、菅義偉官房長官 		

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

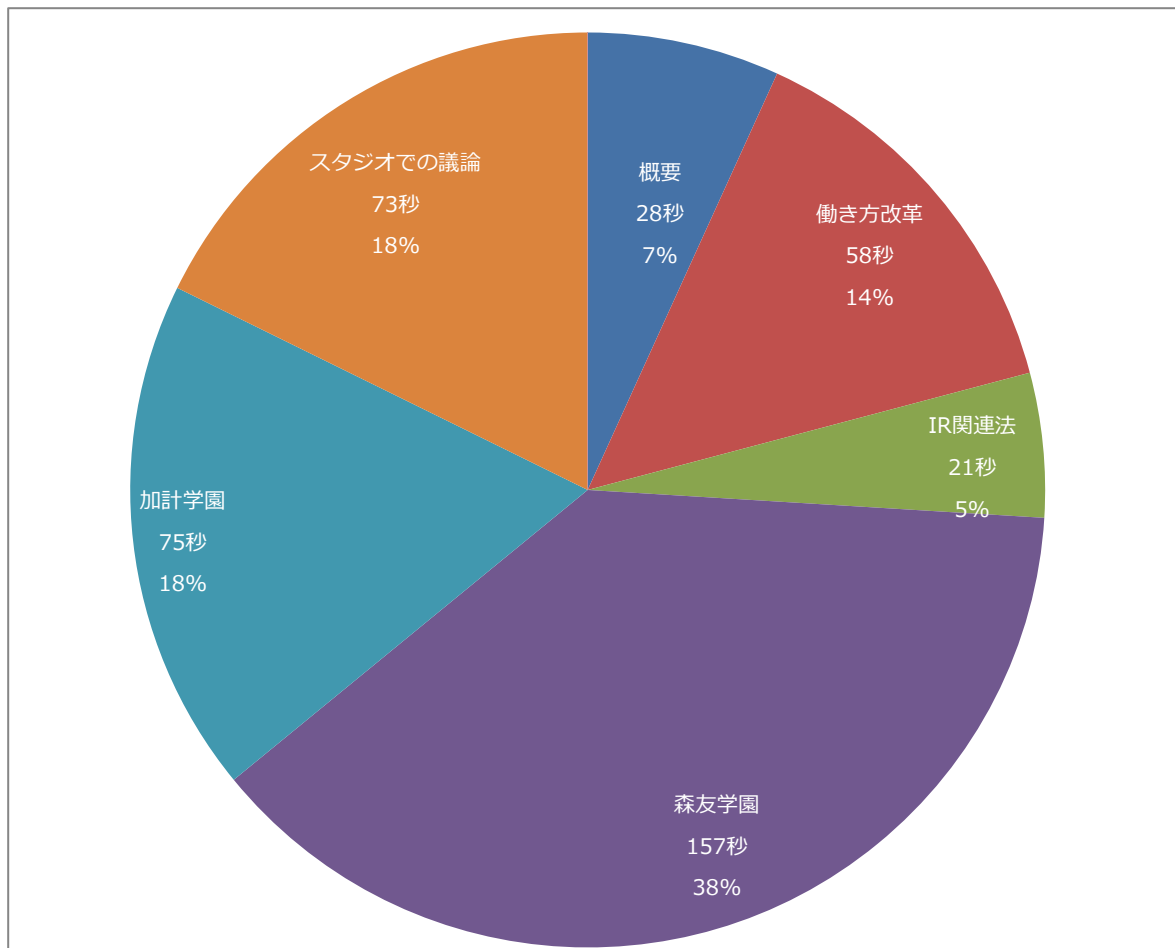
の「全ての拉致被害者の即時帰国を含めて、拉致核ミサイルと言った諸懸案の包括的な解決なしに、国交正常化はありえず、経済協力も行わないということでありですね、この方針には変わりはないということです。」というコメントが取り上げられていた。

また、北朝鮮高官のキム・チャンソン国務委員会部長がシンガポールに向かったこと、チャンソン氏については専門家の説明として北朝鮮情勢に詳しいジャーナリストの平井久志氏による「金正恩さんを始めとする金ファミリーの執事と言われている方なんですね、金正日総書記の時代からこの金ファミリーの身辺のお世話であるとか警護面を担当してきた方ですね。」という説明が取り上げられたほか、チャンソン氏が機内で読み込んでいた資料について「先遣隊を派遣する問題」と題されていること、そこには「米朝首脳会談の成果を保証するためには金正恩党委員長の身辺の安全を一番に二番にも保証すること」と書かれていることが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 438 秒で放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・国会審議：結論→問題あり

国会審議について働き方関連法案、IR 関連法案、森友学園、加計学園について取り上げられた。この国会審議についてはこれら 4 つの論点と経過・概要、スタジオでの議論という 6 つのポイントがあり、このトピックについて当てられた時間は 412 秒で、時間配分及び比率は以下の通りであった。



働き方改革については午後の国会で働き方改革関連法案を採決する方針だった政府与党に対し立憲民主党など

の野党が「先週、法案の委員会採決の際に審議が不十分だった」と主張し待ったをかけ、辻本氏が審議のやり直しを求めて自民党と協議したこと、与野党は明日の衆院厚生労働委員会で補充の質疑を行うことを条件に明後日衆院の本会議で法案の採決を行うことで合意したことが報じられた。また、立憲民主党の辻元清美国対委員長が「働き方関連法案の採決は見送られることになりました。」と報告するシーンが取り上げられていた。

IR 法案については政府与党が重要法案と位置づけていること、政府与党は法案の成立を確実にするため2、3週間程度会期を延長する方向で検討していることが伝えられた。

森友学園については立憲民主党の衆院議員川内博史氏の「改ざんと言う言葉できちんと報告せよということをお大臣としてご支持をされるべきでは。」という質問に対して麻生太郎財務相が「少なくともバツを丸にしたとか白を黒にしたとかいうようないわゆる改ざんとかそういった悪質なものではないのではないのか、従いましていま現時点においては書き換えという言葉を使わせていただいているのが今の現状。」と答えるシーン、議場の外で辻元清美氏が「麻生大臣は異次元の大臣になっちゃったと。なんかどっかに飛んで行っちゃってる宇宙のかなたですね、一人だけです」とコメントするシーン、午後になり麻生大臣が「白を黒に変えなくても信頼性を失う、白を白に変えたってダメなときはダメですから」と釈明するシーンが取り上げられていた。また、財務省から提出された森友学園との交渉記録を巡っては以下に朱記したシーンがVTRで取り上げられていた。

ナレ「先週、国会に提出された森友学園との交渉記録、財務相がこれまで廃棄したと説明し、さらに意図的に廃棄していたことまで明らかになったいわくつきの文書です。野党側は重要な文書が提出されていないとして追及しています。籠池夫婦と一緒に映る昭恵夫人、四年前に学校の建設予定地で取られた写真です、土地を視察した昭恵夫人は籠池被告によりますとこう言ったと言います『いい土地ですから前に勧めてください』、籠池被告が写真を持参し、このエピソードを財務省側に告げたのが2014年4月28日、まさにこの日の交渉記録が提出された文書にもないのです。」

今井雅人(国民民主党衆院議員)「この日だけないんですよ、この前もありますし、このあともあるんですよ、どうということなんでしょうね、これ。」

太田充(財務相理財局長)「どうしてもこの4月28日だけは正直に申し上げて、現時点において探し出せていないというのは正直な事実です、じゃあその4月28日は交渉記録を作らなかったのかということについては、それはそんなことはないということは当時の担当者に確認しております。」

加計学園問題については、愛媛県の中村知事が加計学園関係者がアポなしで昨日県庁を訪ねてきたことを明かしたことが伝えられるとともに、中村知事の「まあ、アポイントメントを取られて来たほうがいいんじゃないかなと思うんですね、こういう注目されている問題ですから我々もフルオープンでやったほうがいいと思っています。」というコメントと、今治市の菅良二市長の「とにかく、やっぱ学園側としても一生懸命だったんだと思うんです。だから、なにかメリハリのあるということでおっしゃったのかな、地元である私達にもモチベーションをしっかりと上げたいという気持ちもあったんじゃないかな。」というコメントが取り上げられた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

駒田健吾「加計、森友、この2つの問題が中々解決しないのは肝心の文書と人物が中々明らかにならないということだと思いますけど。」

星浩「そうですね、文書については2つほどありますよね、一つはその昭恵夫人が入ったスリーショットの写真をもらったときの近畿財務局の反応の文書がでてこない、ということ。それからもう一つは加計の方で言えばで

すね、愛媛県の文書はあるんですけども今治市もあるはずなんですけど中々黒塗りになって全部はよくわからないそれから人物にして言えば、加計理事長と昭恵夫人が国会の証言も当然ですけども記者会見すら行っていないってことですよね。」

雨宮塔子「一方で、麻生大臣は財務省の文書改ざんを悪質なものではないと語りましたよね。」

星浩「そうですね、悪質かどうか決めるのは麻生さんじゃなくて国会であったり国民だと思うんですね、ただその麻生さんが悪質でないと言ったことは問題を深刻にしたいくないというね、そういう願望の現れなんだと思います、これ政権の本音がちらっと見えましたよね。」

また、国会審議について番組のクロージングで星キャスターが「明日は国会で党首討論なんですけど実に一年半振りになるんですね、まああのいろんなスキャンダルだけでなく、大所高所の話、日本の将来の話してもらいたいですね。」とコメントしていた。

加計学園問題について嘘をつかれたがわになる愛媛県と今治市の双方の見解を紹介した点は評価できるが、国会審議については与党議員からの質問シーンは取り上げられていなかったこと、働き方関連法案、IR 関連法案、森友学園、加計学園についての時間配分の比率などを見ると、やはり放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」や同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点では不十分だったと言わざるを得ない。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

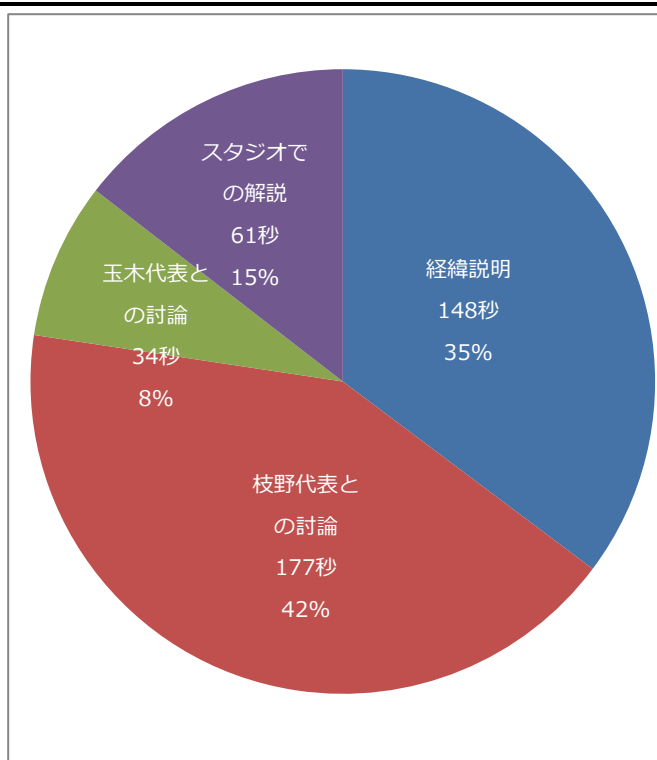
・国会審議

番組のクロージングでは星キャスターが「明日は国会で党首討論なんですけど実に一年半振りになるんですね、まああのいろんなスキャンダルだけでなく、大所高所の話、日本の将来の話してもらいたいですね。」とコメントしていた。これについては全く同意であるが、やはり国会で大所高所の話をすることもさることながら、そうした大所高所の話や日本の将来の話をメディアがしっかりと取り上げることも重要であろう。

星キャスターはクロージングでこのように発言していて、国会審議を取り上げた際に 3/4 ほどがスキャンダルについて取り上げられているという自身の担当番組の実態に疑問を感じなかったのだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月30日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：党首討論、辺野古移設問題、米朝首脳会談、森友文書、加計学園問題、ベトナム主席招き宮中晩餐会		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県女子殺害事件 服役中の男が逮捕 ・日大悪質タックル問題 日大のコーチ3人が辞任へ ・1年半ぶりの党首討論 ・【追跡】辺野古移設問題 県民投票への動き ・米朝首脳会談に向け詰め協議 ・新宿駅で迷惑行為 JR 東日本が対策 ・森友文書決裁文書改ざん 佐川氏不起訴へ ・加計学園事務局長が愛媛県を訪問予定 ・長崎・佐世保で3人転落死 ・スポーツ報道 ・23 トゥデイ <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリ・パラ 子ども席確保 ・ベトナム主席招き宮中晩餐会が開催 ・男性の育休取得率5% ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年半ぶりの党首討論→結論：放送法に抵触の恐れあり <p>今回は1年半ぶりの党首討論についての報道であり、このトピックについてあてられた時間は420秒であった。今回は賛否の別れる内容ではなかったが、与党と野党に分かれての論戦であったため、内容を4つに分割して各放送時間の計測を行った。結果は以下の通り。</p>		

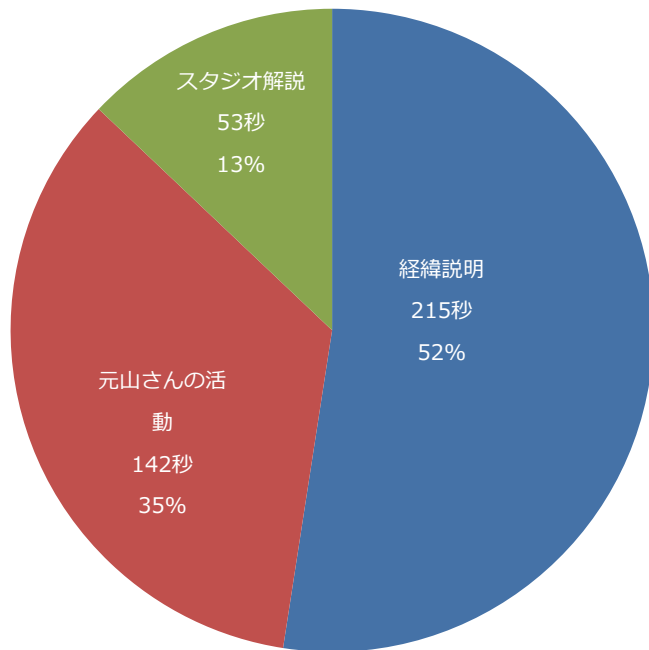


今回の党首討論では4党の党首が安倍総理との論戦に臨んだが、報道されたのは立憲民主党の枝野代表と国民民主党の玉木代表の2党のみであった。質問時間の振り分けの観点から枝野代表の場面が多く流れることはやむを得ないが、政治的公平を期するならば、1場面でも他2党の党首の論戦場面を放送することが望まれる。この意味で放送法第四条第二項第二号（政治的に公平であること）に抵触する恐れがある。

また、スタジオ解説において星キャスターから「内容でもですね、森友問題で昭恵夫人付の職員が財務省に優遇措置を受けられないかと質問をしているということで、その問い合わせについて枝野さんが質しているんですけども、安倍総理は夫人付というのは外遊にも同行しますので云々というちょっとはぐらかしという面も見られましたね。一人の一回のやり取りを1分以内にするとちょっと工夫が必要になってきたかなという気がしましたね。」「今ちょうど野党が割れていますから各持ち時間も短くなっているんですけども、せっかくの党首同士のディベートですから頻繁に開いて、今回はある党に時間を一杯やってもらおう。次回はこの党に、という工夫も必要かなと思いますね。」という解説がされたが、「はぐらかした内容」であるかどうかは主観が関わる問題であるため、そのことを頭につけて話すべきであろうと感じられた。

・辺野古移設問題 県民投票への動き→結論：放送法第四条第二項第四号（意見の対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること）に抵触

今回の報道は番組中の【追跡】という特集として取り扱われ、沖縄の辺野古基地への移設問題について住民投票を行おうという動きがあることが伝えられた。放送時間は410秒で、賛否の関わる内容ではなかった。この報道を3つのテーマに分けて時間計測を行った。結果は以下の通り。



報道では元山氏という人物が辺野古への基地移設についての住民投票を行うための署名集めをしている活動が中心として放送された。元山氏はその動機について「選挙自体は争点がいっぱいある。関心もそれぞれあると思うので、県民投票で『辺野古の米軍基地建設のための埋め立て』の一つに絞った形で投票をやる必要があると思う。」と述べている。これに対しての周囲の反応も伝えられたが、紹介されたのはオール沖縄幹部の「翁長知事の誕生でもはや反対の意志は示されている。万が一にでも負けたら、それこそ取り返しが付かないじゃないか。」という意見と、元山氏を支援する金秀グループの呉屋会長の「一週間で2万5千票。そのつもりでやりましょう。唯一最強の手をこの県民投票に託して頑張ろうよということ。（一番強いのが？）県民の民意なんですよ。」という意見であった。一見、賛否両方の意見を取り揃えているようにも見えるが、両者はどちらも辺野古への基地移設反対の立場を示している。基地移設賛成派は当然のように県民投票に反対であるかのように取り扱われている。多角的な意見を示す意味でも移設賛成派の意見が紹介されていないことは放送法第四条第二項第四号に明確に抵触している。

スタジオでは駒田キャスターから「こちらは普天間飛行場の辺野古への移設について沖縄の琉球新報が県民を対象に行なった世論調査です。この3年では賛成が多いときでも18%。そして、反対は7割を越えているんですね。」と発言があり、それを受けて星キャスターが「そうですね。沖縄では反対の声が圧倒的に強いというのは変わらないんですけども、辺野古移設に向けた工事が着々と進む中で全国的に見ると沖縄の基地負担軽減をすべきだという声はなんとなく鈍っている気がするんですね。県民投票というのは、そういう沖縄の声を全国に届けるという狙いもあると思います。日本の安全保障の負担について、沖縄に過重に負わせていることは間違い

NEWS23 週刊報告 詳細版

ないわけで、それでいいのかという問いかけだと思います。それについて我々はもう一度耳を傾ける必要があると思います。」と解説を行った。

・米朝首脳会談に向け詰め協議→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は北朝鮮のキム・ヨン Chol 党副委員長が米朝首脳会談に向けてポンペオ国務長官との会談のために NY へ出発したという内容であった。韓国大統領府の職員がシンガポールへ向かっていることも合わせて伝えられ、米朝会談に韓国大統領も同席する狙いがあるのではという意見があることが伝えられた。これに対して韓国大統領府は表向きは否定していると伝えられた。このトピックの放送時間は 61 秒であり、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・森友文書決裁文書改ざん 佐川氏不起訴へ→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は森友文書の決算文書改ざん問題において佐川氏の不起訴及び、近畿財務局の担当職員の不起訴を大阪地検特捜部が決定したという内容であった。放送時間は 31 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題点は見られなかった。

・加計学園事務局長が愛媛県を訪問予定→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は加計学園問題における加計学園の事務局長が愛媛県に安倍総理と面会したという嘘の報告をした件について、加計学園から愛媛県に説明を行われる旨を愛媛県知事が発表したことについての報道であった。報道時間は 24 秒であり、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・ベトナム主席招き宮中晩餐会が開催→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は天皇皇后両陛下主催の宮中晩餐会がベトナムの国家主席を招いて開かれたことが報道された。陛下は両国の友好・発展を望まれる旨のお言葉を用意していたが、途中読み飛ばしてしまう場面があったことも合わせて伝えられた。放送時間は 27 秒で、今回は経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題点は見られなかった。

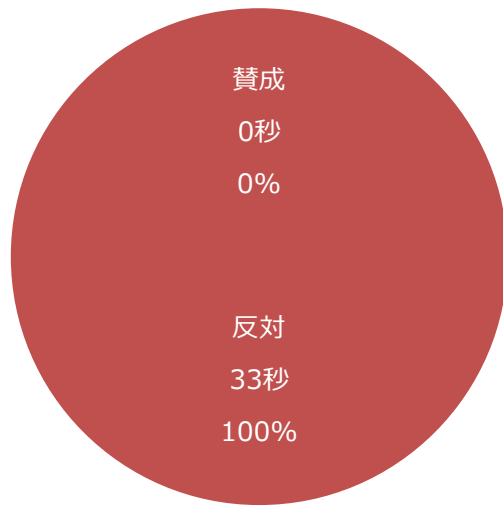
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018年5月31日
出演者： 星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ： 米朝首脳会談、森友問題、加計学園、働き方関連法案、鉄鋼輸入制限		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米朝首脳会談 ・ 森友問題 ・ 紀州のドンファン死亡 ・ 日大タックル ・ 加計学園 ・ 働き方関連法案 ・ 鉄鋼輸入制限 ・ スポーツ情報 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米朝首脳会談→結論：放送法第四条の見地からは問題なし <p>6月12日の開催に向け事前協議が大詰めを迎えている米朝首脳会談についての報道。米朝間の要人による協議の内容や様子についてなどが主な内容だった。また会談を前にロシアのラブロフ外相も金正恩氏と会談を行ったことも伝えられ、その会談の中で金正恩氏は「アメリカの覇権主義に対抗し情勢を調整していくうえで、あなた方の指導部と綿密な意見交換をする用意があるし、今後そうなることを期待しています。」とアメリカをけん制する旨の発言をしていた。また番組後半ではトランプ大統領の「彼らは恐らく金曜日(6月1日)に親書を手渡しにワシントンに来るだろう。それを楽しみにしている。」との発言が紹介され、現地で宮本晴代氏は「つまりキム副委員長が金正恩死からの親書を自分に手渡すことになるだろうとの見通しを表明したのです。国務省の高官は昨夜、トランプ首脳会談中止の発表が書簡の形式だったため返信の書簡が来ることは自然だとの見通しを示していました。ただ国交のない北朝鮮のキム副委員長はアメリカ国内の移動に制限があり、こちらニューヨークからワシントンに行くには特別な許可が必要とみられていましたが、行くとなれば異例の展開です。さらにキム副委員長がトランプ大統領と実際に会うとなれば、これまた異例でそれは首脳会談を歴史に残るせいかとみて、なんとか開催にこぎつけたい米朝双方の思惑の表れです。首脳会談に向けて最も重要な非核化をめぐる双方が隔たりを埋められるのか今日の協議の行方が注目されています。」と報告していた。なおこのトピックに充てられた時間は398秒であり、放送法上の見地からは特に問題点は見当たらなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森友問題→結論：放送法第四条第一項二号に照らし合わせると不十分 <p>大阪地検が佐川宣寿、迫田英典の両氏に対して不起訴と結論付けたことについての報道であり、このトピックスに充てられた時間は244秒であった。大阪地検の判断について肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ、賛否の時間配分及び比率は以下の通りになった。</p>		



反対意見としては元東京地検検事の落合洋司氏の「私の考えとしては今回は不起訴になると文書改ざんがですね、それについてはどうしても疑問持たざるを得ない。悪質な行為であることが多くの人々が人を認めてるわけですから、やはり思い切って起訴をして裁判所の判断を仰いでいく。そういうことがあってもよかったんじゃないかなっていう風に思うんですけども。」との発言、またスタジオ内で雨宮キャスターが「それにしても不起訴処分ということで、でもこれだけ文章の改ざんがありながら罪に問われないというのは釈然としない人も多いですよね。」とのコメントがあった。賛成意見は皆無であり、日本の検察の有罪率は99.9%を誇る精密司法であることが物語っているように、刑事裁判の運用がとりあえず起訴をして裁判所の判断を仰ぐ、というようなものではなく、疑いが相当程度の確度で固まって初めて裁判に持ち込むという在り方であることが全く触れられていなかった。賛否の比率が一方的に反対へと偏っており、放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること」について不十分であると言える。

・加計学園→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

総理に会ったと嘘の報告をしていた加計学園の渡邊良人事務局長が謝罪したことについての報道。渡邊氏は事実と異なる説明をした理由として「構造改革特区ですね、もう何回も蹴られておりまして非常にもう厳しいよかなと、何とかして一つの形にしたいということであいうことを言ったんだろう、私が言ったんだろうという風に思います。」と述べていた。なおこのトピックスに充てられた時間は117秒だった。なお今回は対立点や論点などは特にみられなかった。

・働き方関連法案→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

安倍政権が最重要法案に位置付ける働き方改革関連法案が衆議院本会議で採決されたことについての報道。採決の様子についての映像が流された後に、駒田キャスターによって働き方改革関連法案についての世論調査が示され、今国会で成立させるべきと答えている人が2割に満たないことが報じられていた。またこれを受けて星浩氏は「この法案はねそのブレーキとアクセル両方あるようなものなんですね。長時間労働を規制するというブレ

NEWS23 週刊報告 詳細版

一キと高度プロフェッショナル制度の新設によってその規制緩和をするアクセルなんですけど。長時間労働の風潮まだまだ続いてね、過労死も相次いでいる中で、その一般の国民の多くはですね、どちらかと言うとの規制でブレーキをかけて欲しいっていう人多いんだと思うんですね、それは満世論調査にも現れてると思いますね。今参議院でこうした点をね、きちんと議論してもらいたいと思いますね。」とコメントしていた。なおこのトピックスの時間は 98 秒であり、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

・鉄鋼輸入制限→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

日本と EU がアメリカトランプ政権の鉄鋼とアルミニウムの輸入制限措置について、国家安全保障を根拠に正当化されるものではないとする共同声明を発表したことについて報じられた。またアメリカが輸入車などの関税引き上げを検討していることについても、世界市場の混乱を招くとして強く批判したことについても併せて伝えられた。このトピックスに充てられた時間は 31 秒で、特に対立点や論点などは見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックスの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018年6月1日
出演者： 星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ： 森友学園問題、加計学園問題、司法取引制度		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日大アメフト部ラフプレー問題を巡り、内田監督が兼職している常務理事を辞任 ・ 危険タックルの日大選手と被害者の関学大選手の間で示談成立 ・ 北朝鮮最高幹部、金正恩氏からの書簡を携え渡米 ・ 財務省公文書改ざん問題 森友学園への国有地売却問題を巡り、佐川前理財局長が直接改ざん方法を決めていたことが明らかに ・ 加計学園問題 加計理事長と安倍首相の面会は学園事務局長の判断による創作と判明。 野党は学園事務局長の国会招致を視野に ・ 雲仙普賢岳大火砕流から 27 年。約 300 枚の新たな写真 ・ あおり運転の末、両親死亡。あれから 1 年、長女が手紙 ・ 羽生結弦選手に国民栄誉賞 ・ 本日から「司法取引」導入 ・ 金沢百万石まつり 大量の灯籠炎上 ・ スポーツ報道 ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> ・ 日大アメフト部内田監督が常務理事を辞任 ・ 訪米中の北朝鮮幹部が金正恩氏の書簡をトランプ大統領に直接手渡すことに ・ 噴火から 1 か月も被害拡大。米ハワイ州キラウエア火山 ・ 気象情報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務省公文書改ざん問題： 結論→特に問題なし 今回の報道は、学校法人森友学園に対する国有地売却を巡る財務省の公文書改ざん問題に関して、当時の理財局長が改ざん方法を直接決め、部下に指示していたということについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 136 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。 また、今回は放送法第四条の見地からは特に問題点は見られなかった。 なお、スタジオでは駒田キャスターの「なぜ佐川氏が改ざんを主導したか、重要なポイントなのですが、来週月曜日に財務省の調査結果が発表されますが。そこで明らかになりますか？」というコメントに対して、星キャスターが「国会答弁に合わせて改ざんしたという話が出るが、では何のために改ざんしたのか、政権への配慮や政権からの指示があったかどうかは明らかにならないようですね。どうも理財局と近畿財務局の一部の不祥事として限定したいという政権の狙いが透けて見える。ここは国政調査権を使い国会が真相の解明にもう一步踏み出 		

すしかない。」とコメントしていた。

・加計学園問題：結論→特に問題なし

今回の報道は、愛媛県ならびに今治市に対して上げられた加計学園の加計理事長と安倍首相が面会したとの報告は加計学園の渡辺事務局長個人の判断による創作であり、本人がそれを認め謝罪したとの報道であり、このトピックについて当てられた時間は 105 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

また、今回は放送法第四条の見地からは特に問題点は見られなかった。

最後に、立憲民主党の辻元清美国対委員長（衆大阪 10）による「渡辺事務局長、すごかったですね。昨日発言をされて、「この人うそを言っているに違いないわ」と思った」とのコメントを紹介し、野党側が渡辺事務局長の国会招致を検討していることを報じた。本件に関して、スタジオのキャスターによる論評は見られなかった。

・司法取引制度：結論→特に問題なし

今回の報道は、本日からいわゆる「司法取引」制度が我が国でも導入されたことについての報道であり、このトピックに当てられた時間は 44 秒であった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

また、今回は放送法第四条の見地からは特に問題点は見られなかった。

「容疑者などが捜査に協力する見返りに、刑事処分を軽くする司法取引が今日から導入されました。」と司法取引制度に関する簡潔な説明がなされた後、「取引の対象になるのは、贈収賄、脱税、談合などの企業がかかわる経済事件や、特殊詐欺、薬物取引といった暴力団などが行う組織犯罪です。被害者感情を考慮して殺人や性犯罪は取引の対象になっていません。」とあくまで適用は限定的であると述べ、最後に「捜査機関にとっては極力な武器となる一方、無実の人を巻き込むえん罪の恐れも指摘されています。」と功罪両面を紹介した。本件に対して、スタジオのキャスターによる論評は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・森友学園問題

財務省公文書改ざん問題をめぐる星キャスターのコメントの中に、「ここは国政調査権を使い国会が真相の解明にもう一步踏み出すしかない」というものがあつたが、我々が国会議員に附託している「行政監視」という極めて大切なミッションを思い出させてくれる大変評価に値する発言であった。